

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

学校名	関西医療大学
設置者名	学校法人関西医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/basic.php 事務所で閲覧
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/basic.php 事務所で閲覧
財産目録	大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/basic.php 事務所で閲覧
事業報告書	大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/basic.php 事務所で閲覧
監事による監査報告(書)	大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/basic.php 事務所で閲覧

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/evaluation/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健医療学部、保健看護学部
教育研究上の目的 (公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile01.php)
(概要) 本学は、広く一般教養を高めるとともに、高い倫理観を養成し、より深い専門知識と技術を教授研究し、国民の保健に対する社会の要望に応えうる技術と能力を備えた人材の育成に努めることを教育研究上の目的としている。
卒業の認定に関する方針 (公表方法大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/policy/)
(概要) 本学は、大学全体、学部、学科単位で卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を策定し、ホームページ、大学ポータル、学生便覧等で公表している。このうち、大学全体のディプロマ・ポリシーは次の通りである。 関西医療大学は、建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を具現化するため、卒業認定に必要な所定の単位を修得し、医療人に求められる次の能力を身につけ、地域で医療を必要とする人々への奉仕の精神を持ち続ける学生に対して、学部・学科ごとに、学士の学位を授与します。 1. 広い一般教養と、医療人としての高い倫理観に基づく実践力 2. 論理的な思考で問題解決できる能力 3. 医療人としての責任を自覚し、積極的に行動できる主体性 4. チーム医療の担い手として、多様な人々と協調・協働できる能力 5. 社会の要望に応えうる医療知識と技術
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/policy/)
(概要) 本学は、建学の精神を具現化するため大学全体、学部、学科単位で教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を策定し、ホームページ、大学ポータル、学生便覧等で公表している。このうち、大学全体のカリキュラム・ポリシーは次の通りである。 関西医療大学は、大学全体および各学部・学科のディプロマ・ポリシーを満たし、建学の精神を実践する医療人を養成します。そのために、授業科目全体を、教養教育を行う総合教育科目と各学部・学科における専門教育科目に分け、学科ごとに、目指す医療資格の指定規則等の定めに則り、学年進行に沿って各科目を体系的に配置した教育課程を編成します。この課程の実施により、学修効果を高め、医療人に求められる次の資質・能力を養成します。 1. 広い視野で社会の情報を収集し、問題を解決する能力 2. 社会に貢献できる、協調性とコミュニケーション能力 3. 高度な医学知識と技術を獲得できる思考力、判断力

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/policy/)</p>
<p>(概要) 本学は、建学の精神を具現化するため大学全体、学部、学科単位で入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、ホームページ、大学ポータル、募集要項等で公表している。このうち、大学全体のアドミッション・ポリシーは次の通りである。 関西医療大学は、「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を建学の精神として、現代医学の進歩と社会の変化に対応できる能力を備えた医療人の養成を目的としています。本学では、医療専門職に必要な知識と技術、そして医療人としての幅広い教養と深い人間性を身につけ、将来にわたって、医療を通じて社会に貢献していきたいという強い意思を持つ次のような人々を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら学び、高い知識と技術で問題解決をしようとする人 2. 生命を尊び、病の痛みや苦しみを分かち合おうとする人 3. 保健・医療の場で貢献しようとする人

② 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法:大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile01.php

③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
保健医療学部	—	28人	9人	11人	17人	1人	66人
保健看護学部	—	9人	7人	8人	10人	3人	37人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
1人		108人				109人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： (保健医療学部) https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/medical/ (保健看護学部) https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/nursing/ (大学院) https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/a_graduate/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健医療	250人	236人	94.4%	1000人	933人	93.3%	0人	0人
保健看護	90人	106人	117.8%	360人	400人	111.1%	0人	0人
合計	340人	342人	100.6%	1360人	1333人	98.0%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健医療	237人 (100%)	1人 (0.4%)	211人 (89%)	25人 (10.5%)
保健看護	102人 (100%)	2人 (2.0%)	100人 (98.0%)	0人 (0%)
合計	339人 (100%)	8人 (2.4%)	311人 (91.7%)	20人 (5.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関することは、シラバスに掲載して公表している。シラバスは、教授会の協議を経て学長が承認した次年度の授業計画に沿って、各科目の担当教員が「関西医療大学授業概要（シラバス）作成に関する内規」及び「関西医療大学授業概要（シラバス）作成手引き」に基づいて作成している。</p> <p>シラバスの記載項目は、科目の基礎情報（配当年次、区分、開講時期、単位数、科目ナンバリング等）の他、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教員（授業に反映される実務経験をもつ資格） ・目的 ・到達目標 ・授業計画 ・成績の評価 ・自己学習（予習と復習の目安となる時間、内容） ・テキスト、参考資料 ・オフィスアワー、担当教員連絡先（メールアドレス等）
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価については学則第 25 条並びに履修および試験等に関する規程第 11 条において 100 点～90 点を S、89 点～80 点を A、79 点～70 点を B、69 点～60 点を C、59 点～50 点を D、49 点以下を E とし、C 評価以上を合格の基準とすることを定めている。評価は、各科目のシラバスに示された「成績の評価」の方法に沿って定期試験またはレポート等により厳格かつ適正に実施されている。また、成績の評価に係る客観的指標には、同評価の基礎となる定期試験やレポート等の採点結果（100 点満点）と、成績の分布状況、進級判定及び特待生の選出等の指標となる functional GPA (fGPA) を用いている。</p> <p>卒業又は修了の認定については、卒業認定に関する方針、学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー：DP）を策定し基準としている。卒業又は修了は、個々の学生の学修成果の到達状況を踏まえ、各学科の教務委員会等が作成した卒業又は修了判定案を教授会が協議し、学則に基づき学長が認定する。</p>

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健医療学部	はり灸・スポーツ トレーナー学科	128 単位	有	49 単位
	理学療法学科	128 単位	有	49 単位
	作業療法学科	128 単位	有	49 単位
	ヘルスプロモーション 整復学科	128 単位	有	49 単位
	臨床検査学科	128 単位	有	49 単位
保健看護学部	保健看護学科	128 単位	有	49 単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile04.php		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile04.php		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページ http://www.kansai.ac.jp/life/campusguide/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健医療 学部	はり灸・スポーツトレーナー 学科1年	120万円	20万円	60万円	
	はり灸・スポーツトレーナー 学科2、3、4年	120万円	0円	65万円	
	理学療法学科、ヘルスプロモー ション整復学科、臨床検査学科 作業療法学科各1年	120万円	20万円	40万円	
	理学療法学科、ヘルスプロモー ション整復学科、臨床検査学科 作業療法学科各2、3、4年	120万円	0円	45万円	
保健看護 学部	保健看護学科1年	120万円	20万円	44万円	
	保健看護学科2、3、4年	120万円	0円	45万円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では各学科に置かれた教務委員会が中心となり、教職協働で学生の学修支援に関する方針を策定し実施している。また、全ての専任教員がオフィスアワーを設定し、授業内容等に関する学生からの質問を受け付けている。非常勤講師も同様の時間設定や質問機会の確保を行っている。さらに、全クラスにクラス担任を配置し、個々の学生の修学上の問題をきめ細かく支援できる体制を敷いている。その他、上級生をチューターとする正課外の補修も行われている。</p> <p>学修支援に関しては保護者との連携も重視していることから、学期途中で実施する出席状況調査の報告や教育懇談会での個人面談などの機会を通じて、大学と家庭の双方において学生を適切に支援する取組を行うよう努めている。</p> <p>学修支援に関する学生からの要望は、クラス担任との面談や提案箱、学生生活に関するアンケート、FD授業評価アンケートなどの方法で汲み上げ、支援と指導の改善に組織的に反映させている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学年ごと、学科ごとにキャリア科目を設定し、学年に合わせたキャリア支援を行っている。また、該当資格の業に関わらず、卒業生を招いて話を聞くイベントや、オンラインなどで個別に話を聞く機会を作り、様々な進路選択ができるような取り組みを行っている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では、学生の心身の健康に係る相談等に対応する体制として、校医、「保健室」、「学生相談室」、「カウンセリングルーム」を配置している。「保健室」には養護教諭や看護師の有資格者を配置し、心身の不調を訴える学生や軽度の怪我等を負った学生に対して、必要な対応を行っている。また、本人の症状に応じて外部医療機関に受診照会し、当該学生を搬送している。</p> <p>また、「学生相談室」には、専任教員を相談員として配置し、「カウンセリングルーム」には、臨床心理士を配置している。</p> <p>学生に対し複数の受け入れ窓口を設定し、学生の個人情報保護に十分配慮しながら、相互に連携して、学生の心的支援や生活相談等について適切に対応している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：公表方法：学校教育法施行規則第172条の2に定める事項については、大学ホームページ上の下記URLでそれぞれ公表している。

- (1) 大学の教育研究上の目的に関すること
【学科組織・目的】 <https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile01.php>
- (2) 教育研究上の基本組織に関すること
【学科組織・目的】 <https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile01.php>
- (3) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること
【教員組織図】 <https://www.kansai.ac.jp/pdf/profile3005.pdf>
【専任教員数（職位別）】
https://www.kansai.ac.jp/upload/page/1/20210501senninkyouinsuu_syokuibetu.pdf
【専任教員数（年齢別）】
https://www.kansai.ac.jp/upload/page/1/20210501senninkyouinsuu_nenrenbetu.pdf
【教員紹介】（保健医療学部） <https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/medical/>
（保健看護学部） <https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/nursing/>
（大学院） https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/a_graduate/
- (4) 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること
【3つのポリシー】 <https://www.kansai.ac.jp/info/policy/>
【学生数】 <https://www.kansai.ac.jp/info/students/>
【就職・進路データ】 https://www.kansai.ac.jp/job_career/results/career_course/
- (5) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること
【保健看護学科】 <https://www.kansai.ac.jp/course/nursing/nurs/>
【理学療法学科】 <https://www.kansai.ac.jp/course/medical/pt/>
【作業療法学科】 <https://www.kansai.ac.jp/course/medical/therapy/>
【臨床検査学科】 https://www.kansai.ac.jp/course/medical/clinical_test/
【はり灸・スポーツトレーナー学科】 <https://www.kansai.ac.jp/course/medical/acupuncture/>
【ヘルスプロモーション整備学科】 <https://www.kansai.ac.jp/course/medical/healthpromotion/>
- (6) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること
【修学上の情報】 <https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile04.php>
- (7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
【キャンパスの概要】 <https://www.kansai.ac.jp/pdf/campus20190912.pdf>
【キャンパスガイド】 <https://www.kansai.ac.jp/life/campusguide/>
【交通アクセス】 <https://www.kansai.ac.jp/info/access/>
- (8) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること
【入学概要 学生納付金】 <https://www.kansai.ac.jp/start/admission/>
【大学院入試情報】
https://www.kansai.ac.jp/start/admission/a_graduate/examination/
- (9) 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
【奨学金】 <https://www.kansai.ac.jp/life/scholarship/>
【特待生制度】 <https://www.kansai.ac.jp/life/scholarship/>
【学生サポート】 <https://www.kansai.ac.jp/life/support/>
【キャリアプランニング】 https://www.kansai.ac.jp/job_career/employ_support/careerplanning/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F127310108250
学校名	関西医療大学
設置者名	学校法人関西医療学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		180人	173人	192人
内 訳	第Ⅰ区分	100人	97人	
	第Ⅱ区分	47人	46人	
	第Ⅲ区分	33人	30人	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				192人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	13人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
	0人		

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	16人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	16人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。